

日本万引防止 システム協会

11月6日、東京都千代田区
実行力ある対処



稲本会長

稲本義範会長は「2024年度の触法少年を含む青

少年検挙・補導数は22年対比で36%も増加しています。さらにセルフレジ不正やネット等での盗品売買の横行、組織的万引による高額被害、匿名・流動型犯罪の増加など犯罪の組織化、国際化、悪質化が目立ち、自戒を込め実行力ある対処が必要となっています」と述べ、工業会の活動に一層の支援と協力を求めた。

ウエルシア薬局、コスモス薬品、日本電気の3社は、

万引犯罪防止をはじめ社会生活の安全安心に貢献した功勞により、稲本会長から感謝状を贈呈された。

総会に続いて記念行事として「大プレゼン大会 J EAS AWARD 2025」を開催した。日本電気、日本NCR、高千穂交易、GeoVision、セキュアリンク、タカヤの会員6社が参加し自社製品を15分の持ち時間で紹介。小売業でのニーズの高さや話の分かりやすさなどの審査項目を競った。

新役員は次の通り（敬称略）。【理事】清水浩史（杏林社）、豊島雄介（日本アークア開発）（瀬戸雅彦）